

本日、ここに令和2年第4回市議会定例会を招集いたしまして、補正予算案をはじめ、当面する市政の重要案件についてご審議をいただくわけであります。

各案件にわたります詳細につきましては、審議の過程で副市長並びに担当部課長からご説明申し上げることといたしまして、私はその概要と今の所信の一端を申し述べ、議員各位並びに市民の皆様に一層のご理解とご協力をお願いする次第であります。

新型コロナウイルス感染症については、5月25日に緊急事態宣言が全て解除されたものの、東京などの大都市圏で感染者が増加し、県をまたいだ人の移動により感染者が全国に拡大しました。先月7日には、全国で1日に1,595名の新規感染者が確認され過去最多を更新しています。

また、先月17日に内閣府が発表した今年の4月～6月期の国内総生産（GDP）速報値は、前期比7.8%の減、年率換算では27.8%の減となりました。個人消費や輸出などが激減したことにより、リーマンショックを超えて戦後最悪のマイナス成長という深刻な事態となり、市民生活や経済活動に重大な影響を及ぼしています。

お盆の帰省についても、判断に迷われた方も多かったのではないかと考えています。今年の夏は、花火大会もてやてやウェーブも柱祭りも中止を余儀なくされ、寂しい夏になりました。

愛媛県では、7月19日に、53日ぶりとなる感染者が確認されて以降、32名の新規感染者が確認され、先月末時点で、感染者は114名、内、106名の方は回復されましたが、残念ながら6名の方が亡くなっています。本市では幸いにも感染者は確認されていませんが、県内では、半数以上の市町で感染者が確認され、感染範囲が広がっています。

新型コロナウイルス感染症は、大都市圏での感染が再拡大しており、地方においても第2波の到来が懸念されます。当面の間は、コロナウイルスと共存していくことになる可能性が高く、そのような中で、感染の拡大を抑え、かつ、社会経済活動を継続していくことが重要な課題となってきます。引き続き、有効な手段を講じ、この事態を乗り切るために全力で取り組んでいきます。

本市では、感染症の影響を最小限に食い止めるため、臨時議会の開催及び専決処分等補正予算を編成し、市独自の緊急支援策を迅速に実施してきました。6月市議会後においても7月と8月に2度の専決補正予算により、プレミアム率100%、1セット2万円分を1万円で購入することができる商品券の発行やみかんアルバイト確保に対する

J A等への支援などを行うこととしました。さらに今議会では、7回目となる感染症対策に関する補正予算を計上しているところです。

7月に専決処分を行った「スーパープレミアム付商品券事業」は、本日から12月末まで市内約430ヶ所の取扱店舗で利用することができます。先月17日から市内全帯宛に、順次、引換券を郵送しており、八幡浜商工会議所又は保内町商工会で商品券を購入することができます。また、本日から9月末まで引換窓口を拡張し、フジグラン北浜店、ショッピングセンター保内でも商品券の購入が可能となりました。特別定額給付金事業実施の際にもお願いしましたが、八幡浜市民全員の力が集まると約6億6千万円の経済効果が生まれることとなります。もう既に7千名を超える市民の方に購入していただいておりますが、ぜひ多くの市民にスーパープレミアム付商品券をご利用いただき、落ち込んだ市内の消費需要を喚起し、地域経済の下支えをお願いします。

次に八幡浜市民文化活動センターについてです。

市民の皆さんの自主的な文化・芸術活動、ボランティア活動を支援するため、平成30年度から整備を進めてきました八幡浜市民文化活動センターが、先月29日にグランドオープンしました。

先行して貸館を開始している1階フロアには、楽器・音響機材を備えた音楽練習室やスタジオ、年間を通してお茶会を開催することができる和室のほか会議室を設置しており、既に利用者の方がリピーターとなって何度もご利用いただいております。

また、市民図書館の市民ギャラリー機能を移した八幡浜市美術館も先月の所蔵品展よりスタートしており、現在、グランドオープンを記念して真穴柑橘共同選果部会よりご寄贈いただいた広川泰士さんの真穴みかんの写真を展示しています。今月12日からは第43回八幡浜市美術展を、来年2月～3月には笠間日動美術館所蔵「近代西洋絵画名作展～印象派からエコール・ド・パリまで～」等を順次開催していく予定です。

さらに、今回お披露目となりました2階、3階フロアには、市民の皆さんの発表の場として利用しやすい342名収容のホールを設置しています。市民会館で使用していた座席をそのまま再利用し、2台の国産のグランドピアノも全面的にオーバーホールすることにより、購入当時の美しい音色を取り戻しています。

中ホールでは、縦、約5m30cm、横、約8m60cmの400インチ巨大スクリーンに2万ルーメンの高輝度の映像を映し出すことが可能なプロジェクターを設置しています。公共的な施設では、四国でも一番ではないかと思っています。南予地域に映画館がなくなったこともあり、ホールで定期的な映画上映会を開催し、より身近に映像文化に親しむ機会を提供したいと考えています。今月5日、6日には、こけら落とし事業として5本の映画作品を無料で上映することとしていますので、この機会に、是非、

ご来場いただければと思います。

今後、八幡浜市民文化活動センターが、文化・芸術・ボランティアの分野において市民の皆さんの「やりたい」ことを叶え、活動意欲を向上させるとともに、活動を通じた出会い・交流の場となって、日々の暮らしに豊かさと彩りを添え、本市で暮らすことの満足度を高める施設となることを期待しています。

それでは、今回提案の9月補正予算の主なものについて、順次ご説明します。

最初に「新型コロナウイルス感染症対策」についてであります。

学校では、新型コロナウイルス感染症や自然災害の発生等による臨時休校等においても、ICTの活用により子どもたちが家庭にいながらでも学習を継続できる環境を整備しておくことが必要です。

このため、子どもの学びの保障と教育の機会均等の観点から、児童生徒に貸し出し可能なモバイルWi-Fiルーターなどを整備し、インターネット通信環境を提供するとともに、学校と家庭の同時双方向で教師と児童生徒とのやりとりを円滑に行うために、カメラやマイクなど、遠隔学習に対応した設備を整備します。

このほか、学校関連では、国の補助金を活用したエアコン等の備品、修学旅行のキャンセル料、牛乳等の給食基本物資の提供業者への補助金等の予算措置を講じています。

また、「障害者施設いきいきプチファーム」「発達支援センター巣立ち」「養護老人ホーム湯島の里・あけぼの荘」では、入所者の安全と継続的なサービスを提供することができるよう、非接触型赤外線体温計や加湿空気清浄機などを整備します。

さらに、「withコロナ」の時代に入った中で、市民団体等が感染症対策に配慮しつつ、自主的、主体的に実施する新しい形のイベント等に補助することにより、市民生活に活気を取り戻し、地域活性化を図っていきます。

このほか、消防署本署・分署における仮眠室の区分け及び患者搬送用アイソレーター装置を購入するための施設事務組合への負担金、八幡浜庁舎・保内庁舎の会議室にLAN配線等を行いWeb会議等の環境を整備する費用、選挙投開票所における3密回避のための備品等を購入するほか、市民スポーツセンター指定管理者に対する休業補償の予算措置を講じています。

次に「さらに安全安心な街づくり」についてであります。

南予地方で甚大な被害をもたらした「平成30年7月豪雨」から2年が経過しましたが、日本各地では依然として毎年のように豪雨災害等が発生しており、特に今年は「新型コロナウイルス感染症」と豪雨災害が重なったことで、熊本県をはじめとした被災地は、これまで以上の負担を強いられています。

さらに、今後高い確率で発生が予測されている南海トラフ巨大地震は、発生すれば本市においても、甚大な被害をもたらすとされており、今まさに危機管理の重要性が問われています。

現在、東京大学、愛媛大学、愛媛県、宇和海沿岸地域の5市町で共同設置している「宇和海沿岸地域事前復興デザイン研究センター」において「南海トラフ地震事前復興共同研究」を行っているところですが、本市の課題として、避難行動要支援者の避難が困難であること、身近な高台への道路の交通容量や自動車受入容量が少ないことなどが指摘されています。

これまで本市は、津波の到達時間までに、避難対象地域の外に避難することが困難な地域が無いとして「津波避難対策緊急事業計画」を策定していませんでした。

しかし、年月が経過し、高齢化や人口減少等による支援者の減少などにより、避難行動要支援者の避難が困難なケースが想定されるようになったことから、その検証や計画の策定等を行うこととしました。

この計画を策定することにより、避難場所までの避難経路等が明確になるなど総合的な津波対策が構築できるとともに、6月市議会で予算計上した南海トラフ地震事前復興実施可能性調査の結果に基づき、愛宕山地区へのアクセス道路や避難場所等を整備する際には、国の防災・安全交付金の交付率が2分の1から3分の2に嵩上げされることとなります。

また、市の中心部にある八幡浜銀座商店街は、二宮忠八翁生誕地や八幡浜市民文化活動センターに隣接していることから、周辺住民や施設利用者の利便性の向上を図るため、道路改良を行うための測量設計を実施します。

具体的には、八幡神社下から岩木屋の四つ角までのアーケードを撤去し、車両の通行を可能とするよう計画しており、二宮忠八翁生誕地の活用及び八幡浜市民文化活動センター駐車場へのアクセスが向上することから、文化ゾーンの発展につなげたいと考えています。

このほか「令和2年7月豪雨」により被害のあった、道路、農地等の災害復旧にかかる予算を計上しています。

次に「さらに暮らしやすい街づくり」についてであります。

安心して子どもを産み育てることのできる環境づくりに向け、令和3年度から中学生までの子ども医療費を完全無償化します。

現在、就学前の乳幼児については、医療費は無償ですが、小学生以上の児童は、歯科等を除く通院に係る医療費については、1か月あたり3千円を超える部分のみの助成となっています。また、助成の方法についても、医療費を一度お支払いただいた後、申請

に基づき助成する償還払いの方法をとっています。

来年度からは、就学前の乳幼児と同様に入院、通院に係る医療費を完全に無償化し、手続きにおいても受診時に保険証と受給者証を提示することにより、無料で医療を受けられる現物給付の方法に改善しますので、利便性の向上も図られます。

子どもたちの疾病の早期発見と早期治療を促すとともに、子育て世帯の負担軽減を図っていききたいと考えています。

次に「さらなる産業振興の取り組み」についてであります。

本市の基幹産業である柑橘農業では、アルバイト等の外部労働力の受入れが拡大し、屋外用トイレ設置等の労働環境整備の必要性が高まっています。

愛媛県が、柑橘農業復興推進事業の補助対象に外部労働力確保のための労働環境整備に必要な施設整備等経費を追加したことから、地域農家から要望のある屋外用トイレ設置について、県と歩調を併せてJAに補助することとし「地域の農業を支えるための仕組みづくり」を支援することにより、柑橘農業の振興を図ります。

また、漁業においては、穴井漁港内の水路河口付近に土砂が堆積し、漁船の通行に支障をきたしているため、土砂の浚渫工事を実施します。

以上が、9月補正予算案の概要であります。

この結果、

一般会計 3億6,587万4千円の追加

特別会計（5会計） 1億 96万 円の追加

合計 4億6,683万4千円の追加を、ご提案申し上げる

ものです。

これらの財源としましては、前年度繰越金、地方交付税をはじめ、国・県支出金、市債等それぞれの事業施策に対応する額を計上しています。

以上、ご説明申し上げました補正予算案等につきまして、慎重審議を賜りまして、ご賛同いただきますようお願い申し上げます。